



北条地区
コミュニティ協会
振興協議会
TEL25-3355

北条ネット
kitajo.net



ひろかわ さわ

中野先生 ありがとうございます

北条地区コミュニティ振興協議会 会長 江尻 東磨

9月25日で北条診療所所長の中野先生が退職されました。北条診療所は1971年に開設され、73年4月に先生が赴任されました。定年後も非常勤嘱託医として5年6カ月、通算で約40年間、この山里・北条の地で勤務していただきました。

赴任時の北条の人口は約6400人、現在は約3300人です。約半分に減少しました。そして、この40年は過疎・高齢・少子化や景気の停滞、社会構造の変化等による行き先が不透明、不安という要素を排除できない時代でもありました。また、医師不足という現実の中で、中野先生は一貫して住民の健康管理に努めてくださいました。

昼夜問わず、患者にはいつも変わらぬ姿勢で向き合ってくださいました先生、また2回の地震発生時も休診日

にも関わらず、道路状況の悪い中を遠方から奥様と駆けつけ、「何かあったら私は診療所にいますから」と優しく声をかけてくださいました先生。先生がいてくださったからこそ私たち住民の安心・安全が守られてきたことを痛感する日々ですが、とうとうお別れする日が来しました。

10月14日のコミュニティ祭りで、「中野先生への感謝の会」を午前十時から開催します。ぜひ会場にお越しいただき、先生にありがとうの気持ちをみんなでお伝えしようではありませんか。

先生、本当にお疲れさまでした。北条地区民は幸せでした。髭はないけど「おらが町の赤ひげ先生」であり、誇りでした。地区民を代表して、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

地域間交流

藤沢六会地区と くんとは中学生同士が!



9月22日(土)、藤沢市六会中学校の文化祭に北条中学校の生徒が招待され、3年生の村山桃佳さん、木村悠太さん、羽田正彦さんの3人が参加しました。

藤沢市六会地区は当地区の防災グリーンツーリズムの交流相手先です。それで、どうして中学生が？ 発端は7月下旬、東北の学びのプログラムに生徒が参加した時のことです。同行した六会地区の皆さんとの交流の中で、「今年の北条のコミュニティ祭りは北中生徒全員がスタッフとして参加する」という話から、「だったら、9月の六会中学校の文化祭に来てみませんか？ 午前は生徒会主体のステージ発表、午後は高校・大学・地域住民が連携したイベントで凄く賑わうの。今後の君たちの活動に活かせることが沢山あると思うよ。」という提案に、生徒と同行した藤林校長は賛同し、参加の意思を伝えました。

9月に入り、六会中から正式なお話をいただき、北中では参加希望者を募りましたが、生徒も多忙で人選に苦労されたようです。

文化祭当日は一番電車に乗り、9時30分に六会到着。

六会中学校は全校生徒数約750人(北中は56人)で、藤沢市一のマンモス校です。その全校生徒の前で3人は堂々と学校紹介や自己紹介をしました。中でも2回の地震の被災体験と東北視察から感じたことを発表した桃佳さんは、自分の言葉で、観客の目を見ながらしっかりと話す姿は立派でした。

午後は生徒同士で活動や校舎紹介していただく中で、廊下や教室ですれ違う生徒から「桃ちゃん」と声をかけられ、写真を撮りあうほどの仲良しになりました。

宿泊は六会・佐川会長の天神町自治会館に泊めていただき、朝食は奥様手づくりをご馳走になるなど、堀さん夫婦をはじめとする大勢の方々にお世話になりました。

これまでの大人同士の交流が、子どもたちの交流まで発展したことは素晴らしいことです。また、子供たちを通して、六会の地域や人を知るよい機会になりました。

コミュニティ祭りには、東北と六会で交流した気仙沼の「ツリーシアター」の皆さんを迎え「被災地から学ぶこと」などを北中の生徒たちと一緒に報告していただく予定です。ぜひ、コミュニティ祭りには家族揃ってお出かけください。

北条地区の皆様へ

北条診療所所長 中野研一

私はこの9月をもって北条診療所での仕事を終えることとなりました。

皆様に感謝申し上げます。皆様の感謝申し上げたく一筆を

随分昔の話になりますが40年前、私が柏崎のこの北条地区に来たときは茅葺屋根が目立ち、ほとんどが砂利道でしたからもうふた昔、それ以上も前といった感じがします。

結構豪雪も続き、電線をくぐり、2階から家に入りにし、またカンジキを履き、雪上車に乗って往診したりということも、今は懐かしい思い出となりました。

私の生まれは兵庫県ですがその後、関東、関西、東北と様々なところに住み、引越しも繰り返し参りました。そういう者が何故全く縁のないこの柏崎に？

私は中学生の時、英語の教科書でシユバイツァーという人物の伝記を読みました。アフリカの当時ガボンという辺境の国で生涯にわたり医療活動したドイツ人医師です。

その後、私も一つの夢を持つようになりまし。結局、大学が新潟だったため、新潟に行くことに決め、新潟県庁の地域医療担当の課を尋ねました。その時、担当の課長さんが地図を見つつ、この柏崎市の北条診療所に行ってくれませんか？と言ったのです。

私は凄く山奥を想像しておりましたが、ここは長年人口が多いのに無医地区状態が続いているとのことこの北条に決まりました。

当時の小林治助市長さんから市長室で辞令を頂きました。その隣には今井助役さんが座っておられた由です。随分年月が経って今井助役さんが市長となり、懇談する機会がありました。その時、私に笑いながら言われました。「あの辞令のとき私は隣に座って見ていました。この若い先生がいつまでモツかな」と。これも懐かしいお話です。

道路やら豪雪やらと昔の話を思い出しましたが、私が一番心に残っているのはやはり何と言っても皆

さんとの診療を通しての交流です。日常の診療を通じて患者さん、そのご家族との様々な深い交わり、思い出また学びがありました。こちらへ来た当初は自分がこの地域の医療を・・・と考えておりました。その後、「医師は患者、地域によって育てられる」と言われてきた言葉を実感するようになりました。与えるものと思っていま

たが同時に与えられているということに気づくようになりました。往診の時、畑で腰の曲がったおばあちゃんの「センセイご苦労さん」という一言も含めて様々の交流、ご支援が私にとっては大切な宝物として心の中にあります。

過去何回か私に対して北条あるいは市から感謝をとお話がありました。大変失礼なことではありましたがずっと辞退させて頂いて参りました。すでに宝物を持っている私にとって大事なものは「ただけにしたい、心の中の宝物はそれほど私にとって大事なものがありません」。

へソ曲がりと思われたかも知れませんが背景にそういう思いがあつて折角のお気持ちのこもったご提案を辞退してまいりました。その辺をご理解していただければ幸いです。

また仕事において診療所の職員が良く頑張ってくれて互いに相談・協力しつつ楽しく仕事をして参りました。長く続けられたのはこの助力にもよります。

そして、長年仕事をやって来てこの北条の将来を考えておりました。しばらく前から若い先生に引き継いでもらえたら・・・という思いがありました。そして、関係する皆さんのご努力があつてこの4月から樋口先生が担当して下さいることになったことは大変有難いことでした。

長い間には至らないことが多くあつたと思います。この場をお借りしてお詫びいたします。そして、多くのお支えを頂いてこの日を迎えましたことを皆様に深く感謝申し上げます。この言い尽くし難い感謝の気持ちをもって皆様へのご挨拶とさせていただきます。

平成24年9月



10月からの北条診療所について (ご案内)

【診 療 日】水・金曜日 (ただし、祝日等を除く)

【診療時間】午前 9 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0 (受付は 1 1 : 3 0 まで)

※ 診療日の減少に伴い、ご利用者の皆さまには大変ご不便をお掛けしますが、休診日に下記のとおり、新たな事業・取り組みを行い、少しでも不便さの解消に努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

1 「健康いきいき相談」を始めます

休診日の午前中に、看護師による無料健康相談を開始します。

「食事に関すること」や「薬に関すること」などの相談のほか、血圧測定も行います。また、相談は電話でもお受けいたしますので、お気軽にご利用ください。

■実施日： 毎週 月・火・木曜日の午前中 (ただし、祝日等を除く)

2 インフルエンザの予防接種 (対象 1 3 歳以上の方)

10月末から隔週土曜日に、インフルエンザの予防接種を行います。

完全予約制になりますので、希望されるかたはお早めにお申し込みください。

■実施日 : 10 / 27 (土) ・ 11 / 10 (土) ・ 11 / 24 (土)

■実施時間 : 午後 2 : 0 0 ~ 4 : 0 0

■申込み先 : 北条診療所 電話 25 - 3 2 1 5



「ぬくもりの家小島」閉所式
 ありがとうございますなら
 県道拡幅工事にかかわって「ぬくもりの家小島」は南条に移ることになり、閉所式が9月25日(火)午前9時半から行われました。出席者は、利用者と運営に携わった市と地区関係役員と職員、所在地小島の現旧町内会長と協力者の皆さん43名。式は「家」への感謝に満ちた集いとなりました。平成9年の開所以来、15年間の利用の方々は実数86名とのこと。皆さんのこの「家」への思いは尽きないことでしょう。式は、懐かしさを語り合う「茶話会」で幕となりました。(禮治郎)

北条十五夜祭りを終えて

十五夜祭典委員会

実行委員長 岡田 清隆

9月15日(土)、16日(日)と北条十五夜祭典が開催されました。

思考を凝らした各集落の灯籠が、ほろろと先頭に暗闇の中から八幡神社へと行列が進んでいる様子は、まさに幻想的な面持ちで伝統の祭りが引き継がれている思いがしました。

本祭りの日には、天候にもめぐまれ熱中症を心配するほどの晴天の中、子供神輿の行列が盛大に行われ、子供たちの威勢のある声が町内に響きわたりました。

祭りの終了時には、各集落にわかれ慰労会が開かれました。飲み物、食べ物に舌つづみを打ち、集落の人たちのにぎやかな声を聞きながらお祭りを終えることができました。

多くの皆さまからご協力をいただき、十五夜祭典が計画どおり開催できたことを心から感謝申し上げます。報告とさせていただきます。



コミ事務局からのお知らせ



コミュニティの電話回線を「ひかり電話」へ変更し、それに伴い玄関へ設置されていた公衆電話（ピンク電話）が撤去されました。
 今後、電話をかける場合はお手数でも事務局へひと声かけて下さい。

平成24年度 市民武道大会(柔道)結果

日 時 平成 2 4 年 9 月 2 9 日 (土) 9 : 0 0 ~
 会 場 柏崎市武道館柔道場
 主 催 柏崎市教育委員会
 主 管 柏崎市体育協会・柏崎柔道連盟



結 果

【団体戦】

低学年の部 第 1 位 北条・月曜クラブ
 (関 愛 仁)
 高学年の部 第 2 位 北条柔道クラブ A
 (中山祥太・若杉礼史・笠井一矢)

【個人戦】低学年の部 第 2 位 関 愛 仁

... お悔み ...

ご冥福をお祈り申し上げます
 8 月 26 日 ~ 9 月 25 日

宮山 徳治 (79 歳) 西長鳥

【お詫び・訂正】

山なみ 9 月号「お悔み」で掲載した名前 (漢字) が間違っていました。お詫び申し上げます。
 (誤) 寺沢 光夫 → (正) 寺沢 光雄

— 10月の行事予定 —

コミュニティ祭り	14日(日)	9:00~15:30
総代会	5日(金)	13:30
特定検診・健康診査	9~11日	13:30~14:30
胃がん検診	22日(月)	8:00~10:00
胸部レントゲン	22日(月)	15:00~16:00
かくたん回収	29日(月)	10:10~10:30
生花教室	13日(土)	14:30~
かすりの会	16日(火)	9:00~15:30
社交ダンス	8・22日(月)	20:00~21:00
茶道教室	18・25日(木)	13:00~16:30
北条お達者クラブ	9・23日(火)	10:30~11:30
旧広田ソフトバレー	毎週火曜日	19:30~21:30
習字教室	毎週水曜日	16:00~21:00
卓球クラブ	毎週水曜日	19:30~21:30
三味線教室	毎週木曜日	9:30~11:30
越後よさこい凧北条	毎週木曜日	19:30~21:00
カサブランカ合唱団	毎週金曜日	19:30~21:30

ふるさと再発見 ~ 藍澤 南城 編 ~

1792年、藍沢北浜の長男として生まれる。父は刈羽郡加納村（かのうむら）の人、同村の寺沢石城に学び、小千谷片貝（かたかい）の郷塾朝陽館塾長。母は南条村（みなみじょうむら）関治五兵衛の長女班（はん）。南城、名は祇（ぎ）、字は子敬（しけい）、幼名文蔵（ぶんぞう）、通称要輔（ようすけ）、鉢山（はちざん）、抜山（ばつざん）と号し、のち南城と改めた。青年時代江戸で修行し、29歳で郷里に戻り、八石山麓のはるか米山を望む南条の地に「三余堂」という塾を開きました。

この塾には、県内一円から向学心に燃える多くの人々が学び、そこからは立派な人物が巣立ちました。

木々の覆う山道を登った杉林の中に、在りし日の漢学塾三余堂をしのび、更になだらかな細道を行くと、一族の墓や碑が建ち並んでいます。



藍澤南城石碑